

経営学部の取り組み

真 庭 功 (経営学部)

この報告書は、2003年度に「特色ある教育」プロジェクトとして、本学部が取り組んだ「経営学教育実践」の概要を記したものである。

また、このプロジェクトは2003年度「高等教育研究改革推進経費」による助成を受け、「体験的学習による起業家精神の育成」をテーマに実施されたものである。なお、本教育研究課題は、2000年度から実施されたものであり、4年間継続して助成を受けている。

[] 特色ある教育計画書（抜粋）

- ・教育研究課題：体験的学習による起業家精神の育成
- ・キーワード：起業家精神，情報技術，表現能力
- ・教育研究の特色・独創的な点

学際的な経営学教育を通して、起業家精神を培い、主体的に問題を発見し解決する能力を備えた創発的思考のできる人を育成する。産業界と連携してベンチャービジネス講座を経営特殊講義として開講するとともに、授業支援型プログラムと合わせて理論と実践の橋渡しを行い、相乗効果により経営学教育の実をあげる。

- ・教育研究の概要及び効果

〔概要〕情報技術革命が進行しているなかで、起業家精神を培うとともに、グローバルな視座を持ち、国際社会で活躍できる人を養成する。また、問題を発見して解決し、表現する能力などをワークショップにより向上させる。

1. ベンチャービジネス講座：授業との連携

起業家教育，パソコン・リサイクルショップの運営，キャンパスベンチャーの育成

2. 授業支援型プログラム：演習や講義などの授業をサポートする。

授業支援（eラーニングを含む），メディア企画塾，情報活用講座，簿記学習支援，

3. 社会人を招いての講演会

経営者を招いて、先進的なケーススタディに学び、意見交換する。

授業と連携した講演会，ビジネスセミナー，経営イノベーション講座など

〔効果〕授業を補完し、創発的思考方法を養成する。チャレンジ精神を醸成する。

さらに、新しい教授法の研究にも役立つ。

〔 〕実施プログラム一覧表

計画書に基づいて、2003年度に実施したプログラムと担当者は次の通りである。

- ・教育研究課題 体験的学習による起業家精神の育成
- ・責任者 経営学部長 地代 憲弘（教授）
- ・運営委員 真庭 功（教授）、浅野 信博（助教授）

実施プログラム

| プログラム名 | 担当者 |
|----------------------------|-------|
| 1 ベンチャービジネス講座 | |
| (1) 起業家教育 | |
| 経営特殊講義3（春） | 真庭 功 |
| 経営特殊講義4（秋） | 真庭 功 |
| (2) パソコン・リサイクルショップの運営（春・秋） | 見市 晃 |
| (3) キャンパスベンチャーの育成 | |
| ベンチャービジネス論・経営学概論・演習 | 地代 憲弘 |
| CVGOビジネスプラン | 見市 晃 |
| 2 授業支援型プログラム | |
| (1) 経営学演習（発展演習） | 西岡 健夫 |
| (2) メディア企画塾（基礎演習） | 真庭 功 |
| (3) マルチメディア論 | 真田 英彦 |
| (4) 経営特殊講義17（環境と経営） | 見市 晃 |
| (5) 簿記学習（基礎演習） | 浅野 信博 |
| (6) 情報活用講座（卒業演習）KJ法 | 真庭 功 |
| 3 社会人を招いての講演会 | |
| (1) 経営倫理学 | 西岡 健夫 |
| (2) マーケティング論 | 辻 幸恵 |
| (3) アメリカ経営事情セミナー | 真庭 功 |
| (4) ビジネスセミナー | 真庭 功 |

〔 〕実施プログラム概要

1. ベンチャービジネス講座

(1) 起業家教育

起業家精神の育成をねらいとした産学連携プログラムとして、春学期に「経営特殊講義3」テクノロジー編、秋学期に「経営特殊講義4」マネジメント編を開講した。

[] 各学部・学科の「特色ある教育」報告

各約180名の受講生が出席した。それぞれ5つのテーマの下に、招待講師により最初は講義を中心に行い、2回目は質疑応答などの対話形式の授業を試みた。

毎回、授業時に簡単なカードを提出させ、Q & Aに役立て、意見発表時には、補助的に携帯電話メールを活用した。さらに、テーマごとにレポートを提出させ、最後に理解度テストとまとめの授業を行った。成績は総合評価とした。受講生からも好評であった。

(1-1) 経営特殊講義3 (真庭 功)との連携

期 間 春学期 4月8日(火)～7月8日(火) 4時限 13回

テーマ 起業家精神の育成：テクノロジー編

次世代のテクノロジーの中から5つのテーマにスポットを当てた。

連 携 大阪国際サイエンスクラブ

担当者 支配人 石井 久行 氏

コーディネーター

寺田 暢彦 氏 / 元(財)大阪科学技術センター 技術・情報振興部長

概 要

| | | | |
|---|--------------|-----------|--------------------------------------|
| 1 | 4/15 4/22 | IT：情報技術 | 福澤 俊樹 氏 (株)クボタ教育センター 研修部長 |
| 2 | 6/06 5/13 | ものづくり | 曽根 成典 氏 元(株)クボタ 環境安全部 |
| 3 | 5/20 5/27 | バイオテクノロジー | 近藤 昭彦 氏 バイオ・エナジー(株)取締役 |
| 4 | 6/03 6/10 | ナノテクノロジー | 三原 孝夫 氏 (財)大阪科学技術センター 技術・情報振興部 部長 |
| 5 | 6/17 6/24 | まちづくり | 石橋 実 氏 バナホーム(株)住宅研究所 生活デザイン研究室 室長 |

(1-2) 経営特殊講義4 (真庭 功)との連携

期 間 秋学期 9月30日(火)～1月20日(火) 4時限 13回

テーマ 起業家精神の育成：マネジメント編

5つの話題を中心に概括し、経営イノベーションに光を当てた。

連 携 特定非営利活動(NPO)法人 アントレプレナーシップ開発センター

担当者 プロジェクトマネージャー 原田 紀久子 氏

コーディネーター

杉山 公律 氏 / (財)京都高度技術研究所 産学連携事業部 新事業創出担当

経営学部の取り組み

概 要

| | | | |
|---|-------|------------|------------------------|
| 1 | 10/07 | ロボット研究と | 岡田 美智男氏 |
| | 10/14 | 社会との接点 | (株)ATR 人間情報科学研究所 主任研究員 |
| 2 | 10/21 | 美の影に限りない努力 | 白岩 則信 氏 |
| | 10/28 | | (株)ワコール 法務部 知的財産担当部長 |
| 3 | 11/11 | 食産業の表と裏、 | 神村 護 氏 |
| | 11/18 | そして未来の展望 | NRD研究所 主宰 |
| 4 | 11/25 | OL社長の喜怒哀楽 | 伊賀 真理 氏 |
| | 12/02 | | (株)パレット 社長(大阪ガスグループ) |
| 5 | 12/09 | 風船からふくらむ | 加原かつひこ氏 |
| | 12/16 | ビジネスのカタチ | (有)ウィンズバルーンズ 代表取締役 |

(2) パソコン・リサイクルショップの運営

これは「発展演習」(3年ゼミ:見市 晃)を特別に学外で行ったものであり、特定非営利活動法人イ・キューブ(理事長 盛岡 通)の指導の下に実施された。

活動の主な内容はパソコン・リサイクル活動で、関係者から高く評価されている。

(詳細は本報告集「大学生の自主的な社会活動による学習」(見市晃)参照)

(2-1) 特別演習(春学期:見市ゼミ3年)15日間以上

実施場所 A T Cグリーンエコプラザ, コープこうべボランティア福祉センター
本学総合情報教育センター

活動概要 パソコン・リサイクル活動

(1) エコライフスタイル展に出展(7/8-31)

(2) ロボット作成教室スタッフ(8/22・26)

(3) パソコン再生作業等

実習指導 福井 清健 氏, 山森 コウ 氏, 田辺 由美子 氏, 他

(2-2) 特別演習(秋学期:見市ゼミ3年)15日間以上

実施場所 尼崎市労働福祉会館, 小田市民会館など, 茨木市商店街など,
本学総合情報教育センター

活動概要 パソコン・リサイクル活動

(1) 尼崎21世紀の森構想

(2) 廃棄パソコンの再生

実習指導 福井 清健 氏, 山森 コウ 氏, 田辺 由美子 氏, 他

(3) キャンパスベンチャーの育成

(3-1) 「ベンチャービジネス論1」(小野 知己)と連携した講演会

日 時 6月28日(土)1・2時限

テーマ J A V A 有人ノーブラシ洗車場システム

講 師 龍見 啓介 氏/タツミ総研(株) 社長(本学卒業生)

市民公開講座とし、好評であった。

(3-2) 「経営学概論2」(岡崎 利美)と連携した講演会

日 時 11月21日(金)3時限

テーマ デジタル化時代とコミュニティー

講 師 桐山 勝 氏/日経CNBC社長

受講生 約150名

(3-3) 特別演習(見市ゼミ+地代ゼミ)と連携した講演会

日 時 12月5日(金)4時限

テーマ 地・学連携 - コーディネートの現場から

講 師 伊藤 数子 氏/株パステルラボ 代表取締役社長

受講生 約60名(希望者は参加自由)

(3-4) C V G O ビジネスプラン

特別演習(見市ゼミ+その他のゼミ)と連携したビジネスプラン応募

第2回C V G Oから参加し、この活動に参加した学生が奨励賞や参加賞を得ており、ユニークな発表も行っている。

日 時 10月24日(金)4・5時限

テーマ 第5回キャンパスベンチャーグランプリ O S A K A

C V G O : 関西の学生による新事業の提案コンペ(ビジネスプラン)

講 師 萩平 勲 氏/ビジネスインテグレート(株) 代表取締役, 中小企業診断士

説明者 辻 総一郎 氏/日刊工業新聞社 大阪支社 事業出版部 主査

主 催 キャンパスベンチャーグランプリ O S A K A 実行委員会

共 催 摂津水都信用金庫・日刊工業新聞社

参加者 見市ゼミ他 約35名

2. 授業支援型プログラム

(1) 経営学演習支援

(1-1) 発展演習（西岡ゼミ3年：西岡 健夫）

日 時 6月30日（月）4時限

テーマ 信用金庫を中心にした金融の話

講 師 糸川 太司 氏 / (株)大阪彩都総合研究所 事業部長

(1-2) 発展演習（西岡ゼミ3年：西岡 健夫）

日 時 10月27日（月）4時限

テーマ 建築・街づくりからみた日本と中国

講 師 新井 理恵 氏 / 櫻設計室 主宰, 建築家（一級建築士）

(2) メディア企画塾（真庭ゼミ2年・基礎演習：真庭 功）

期 間 春学期 5月6日（火）～7月8日（火）2時限 10回

テーマ コンテンツの企画と制作：詩集，作曲，映像

講 師 田原 敏孝 氏 / (株)システム21 マルチメディアプロデューサー
元関西テレビ放送プロデューサー，編成制作局 専門局長

概 要 ワークショップ形式による作品の制作

各課題ごとに，口頭発表をさせ，プレゼンテーション能力を養成した。

メディア企画塾「旅への誘い」 / メディアと文化

メディア論，情報社会への対応，放送 / 通信，インターネット

多様なメディアを満たす情報コンテンツ

情報・コンテンツと知的所有権 / 知的所有権の種類と所有するメリット

著作権をもちろ。文字，音，映像，総合

コンテンツの企画と制作 / 総合演習，作品の発表会（講評）

作 品 詩・散文・広告などのコピー等をワープロで執筆し，作品の発表を行った。

作品集としてまとめた。青春謳歌の作品としての出来栄え良好。

(3) マルチメディア論（真田 英彦）のテクニカルサポート

ねらい 動画編集可能なコンピュータ教育環境を活用する授業のサポート

期 間 秋学期 9月24日（水）～1月21日（水）1時限 14回

テーマ ホームページを作って，情報を発信することの重要性を知ることと，
その技術を身につけること（Webでの情報発信 + ビデオ編集）

講 師 永田 淳次 氏 / 通信・放送機構 けいはんな情報通信研究開発支援センター

概要 (1) Webでの情報発信

Web概要, HTML概要 / IBMホームページビルダーの使い方

IBMホームページビルダーによるWeb page作品

総合演習: Web page作品 / 発表会, 作品の提出

(2) ビデオ編集 (ビデオ編集概要とPremiere)

編集の基本 / 特殊効果 (トランジション)

特殊効果 (ビデオイフェクト, モーション) / タイトル, サウンド編集

総合演習: 動画編集 / 発表会, 作品の提出

(4) 経営特殊講義17 (環境と経営: 見市 晃) の分担講義

期間 秋学期 11月26日, 12月3・10・17日 (水) 4時限 4回

テーマ (1) 循環型社会における市場の新しい枠組みと企業に求められる環境経営

(2) 環境報告書・環境会計からみる企業の環境への取組 (その1)

(3) 環境報告書・環境会計からみる企業の環境への取組 (その2)

(4) レポート課題とそれに関する留意点

講師 田中 伸一 氏 / (株)プロット 代表取締役社長, 元本学非常勤講師

(5) 簿記学習支援

会計分野のゼミと連携して, ライセンス取得を目指して特別簿記演習を実施した。

日商簿記検定試験3級・2級の合格者を出した。

期間 10月~2月 (主に火・水で, 他に木・金) オープン

補助 岡 友和 氏 / 本学卒業生, 日本商工会議所簿記検定合格 (1級)

公認会計士試験第二次試験短答式試験合格

担当者 浅野 信博 助教授

(6) 情報活用講座

情報系ゼミと連携して, KJ法によるアイデア・サポートの特別演習を実施した。

アイデアを出して, まとめる作業は, 卒論などにも役立てることがわかった。

また, 携帯電話メールを活用したことも, 有効であった。

期間 秋学期 10月29日~1月14日 (水) 5時限 7回

テーマ 携帯電話メールの活用と発想法

講師陣 (株)アイテック

経営学部の取り組み

授業日程・講師

| | | | |
|---|---------|-------------|--------------|
| 1 | 10 / 29 | ガイダンス | 廣田隆一郎 氏 / 社長 |
| 2 | 11 / 19 | 言語データの作り方 | 田中 浩枝 氏 |
| 3 | 11 / 26 | 基礎1 / 紙ベース | " |
| 4 | 12 / 03 | 基礎2 / 紙ベース | " |
| 5 | 12 / 10 | i s o pの使い方 | " |
| 6 | 12 / 17 | グループワーク | " |
| 7 | 01 / 14 | グループ発表 | 泉 英毅 氏 |

ソフト 「i s o p : 超発想法」 version 3.0 5グループ利用許諾

実 験 参加者は携帯電話メールで、アイデアを講師のアドレスに送信する。

各グループで、ポータブルのノート型PCを使ってアイデアからKJカードを作成し、グループ化を行い、見出しを付けて、配置し、図解化する。

問題解決の一助とする。プレゼンテーションを行い、意見を交換する。

参加者 真庭ゼミ4年(卒業演習)

3. 社会人を招いての講演会

(1)「経営倫理学2」(西岡 健夫)と連携した講演会

日 時 11月18日(火)4時限

テーマ 法と倫理

講 師 梅本 弘 氏 / 栄光綜合法律事務所 弁護士, 代表社員

(2)「マーケティング2」(辻 幸恵)と連携した講演会

日 時 11月19日(水)5時限

テーマ 通信販売とサービス

講 師 建部 和久 氏 / (株)ジャパネットたかた インターネット企画開発部

(3)「アメリカ経営事情」セミナー

期 間 秋学期 11月26日, 12月3・10・17日(水)1時限 4回

連 携 「発展演習2」(真庭ゼミ3年)と連携して実施した。

テーマ アメリカ経営事情

講 師 船曳 信行 氏 / 船曳信行国際行政書士事務所 代表

元アメリカ大使館書記官, 元本学非常勤講師(産業と経営)

概 要 アメリカ経営事情と日米経営比較

ケーススタディ: 日本企業のアメリカ進出

[] 各学部・学科の「特色ある教育」報告

学生が会社の担当者になり、仕事を考えて、他の学生と討議し、発表する。
自分で考える授業を目指す。これから起きるかもしれないという事例の研究で、
予知能力を身に付けるのがねらいである。

- ・ 仮想会社の概要 / アメリカ現地生産の手順 / アメリカ進出する仮定的条件
進出の第1段階及び第2段階での任務
会社業務の種類（製造業における会社業務）
アメリカ現地生産の進出手順

(4)「ビジネスセミナー」

期 間 秋学期 11月18・25日, 12月2・9・16日(火) 5時限 5回

連 携 「インターンシップ2」と連携して実施した。

テーマ ビジネスプランとプレゼンテーション

講 師 剣持 浩 氏 / K E N マネジメント インスティテュート代表

中小企業診断士, 本学非常勤講師, 元大阪ガス職員

概 要 学生向けの基礎的なビジネス教育, 天性を生かす自己実現意欲の育成

グループ学習でビジネスプランを作成し, 発表し, レポートを提出させた。

レポートの主要項目

< 経営理念とビジネスの内容 >

1. このビジネスにおける経営理念は?
2. このビジネスの内容(具体的に)
3. このビジネスを立ち上げた場合の今後の見通し

< 損益分岐点売上高と目標売上高の算出 >

1. 固定費の算出
2. 限界利益率の算出
3. 損益分岐点売上高の算出
4. 目標利益の算出
5. 目標売上高の算出

< 長期経営計画の作成 >

1. 1年目の目標売上高
2. 2年目からの上昇率
3. 長期経営計画

< マーケティング戦略について >

- マーケティングの課題
- 消費者の意識や行動パターンは?
- ・ 一般消費者の動き
 - ・ 消費者の年齢構成については?
 - ・ 性別, 地域別, の違いはどう影響する?
- ライバルはどんな業界か?
- その対策はどのようにしているか?
- 市場細分化と商品差別化をどう進めるのか?
- ・ 現在の市場
 - ・ 将来の市場
 - ・ 具体的な消費者ターゲットは